



公益財団によるSDGs： 食を通じた栄養改善の取り組み



2020年1月21日

上杉 高志

公益財団法人味の素ファンデーション (TAF)

takashi_uesugi@aji-foundation.org

1 . TAF紹介

< TAFの目指すところ >

- n 広く社会の理解と賛同を得る
- n 健康な営みの基盤となる**食と栄養**に関する4つの公益目的事業を運営
- n 国内外のコミュニティの持続可能な自立を応援



社会課題の解決に寄与

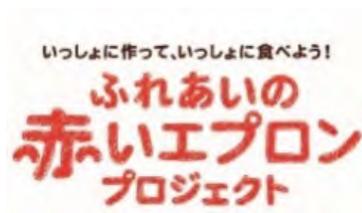
エンドースメント：実績と信頼 / 公的なお墨付きを得る
エビデンス：客観的評価を得ることで信頼性を上げる
サステナブル：受益者に還元し得る持続可能な仕組みの構築
パートナーシップ：仲間を寄せる広報 / 仲間を巻き込む渉外
スケールアップ：具体的な協働プロジェクト化で加速

1 . TAF紹介

< TAF 4つのコア事業 >

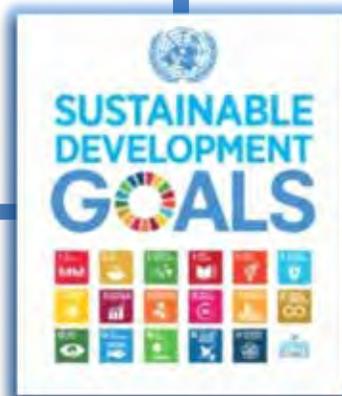
被災地復興応援 健康・栄養セミナー事業

東日本大震災をはじめ被災地域において
いっしょに学び、作り、食べる健康・栄養セミナーによって
住民の心と体の健康の向上、コミュニティ再生を支援



低所得国栄養改善事業

ガーナの離乳食に不足しがちな栄養素を
配合した食品KOKO Plusの普及を通じ
て、乳幼児の栄養改善に貢献する
ソーシャルビジネスモデルを構築



食と栄養支援事業

食と栄養改善のテーマで
途上国のコミュニティで活動する
NPOの住民参加型プロジェクトに資金を助成
(1999年 2017年度まで累計3.5億円、
17カ国83プロジェクトを支援)



途上国栄養制度 創設事業

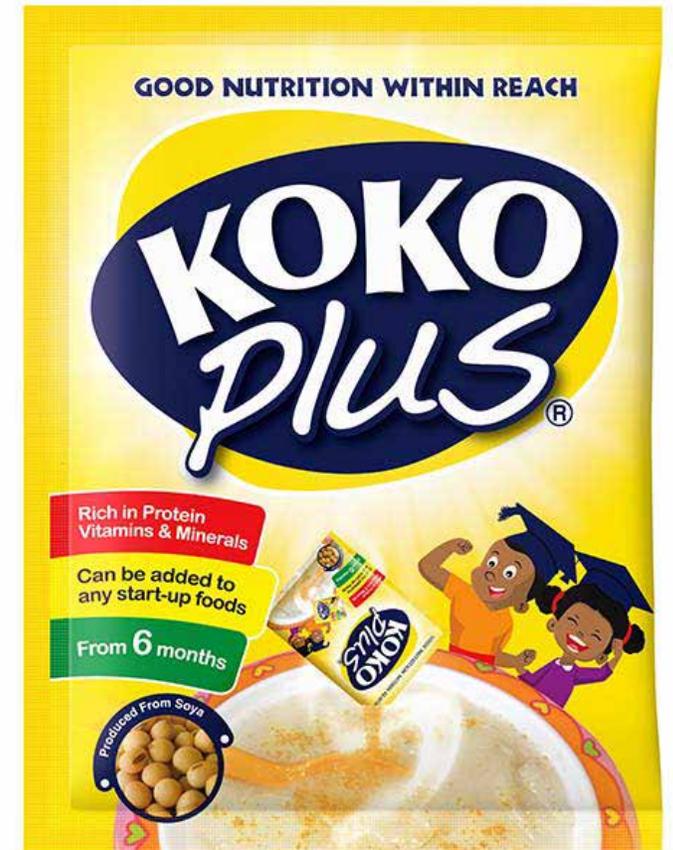
ベトナムにおいて栄養士人財の
育成や栄養関連法制度の創設など
国のルール作りを支援



2 . 低所得国栄養改善事業（ガーナ栄養改善プロジェクト）



GNIP: Ghana Nutrition Improvement Project



(1) Stuntingの課題

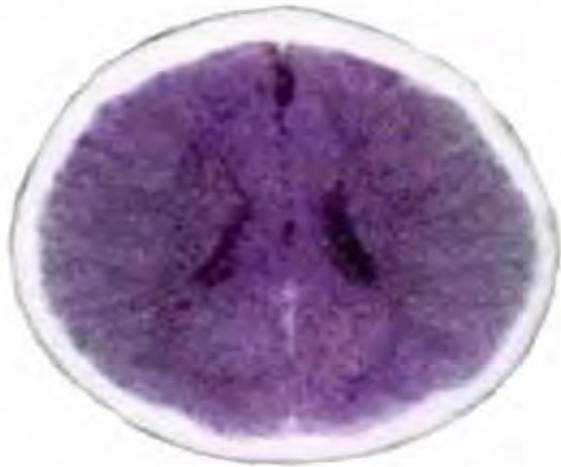
- | 栄養失調により身体と脳の成長が抑制される。
- | 生後1000日を越えた後は、失われた成長を取り戻せない。
- | 1990年以降サブサハラ地域のみStuntingの子供の割合が増加



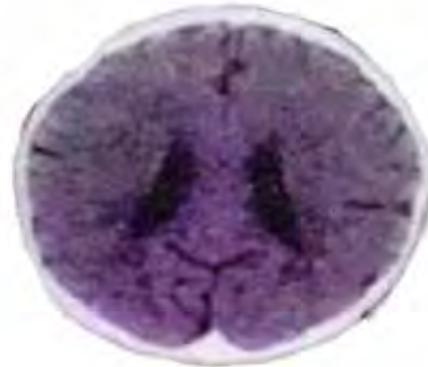
栄養失調による脳の成長抑制の例

1000 Days Brain scan - two 3 year old children

¹UNICEF, WHO and World Bank, 2018



Normal



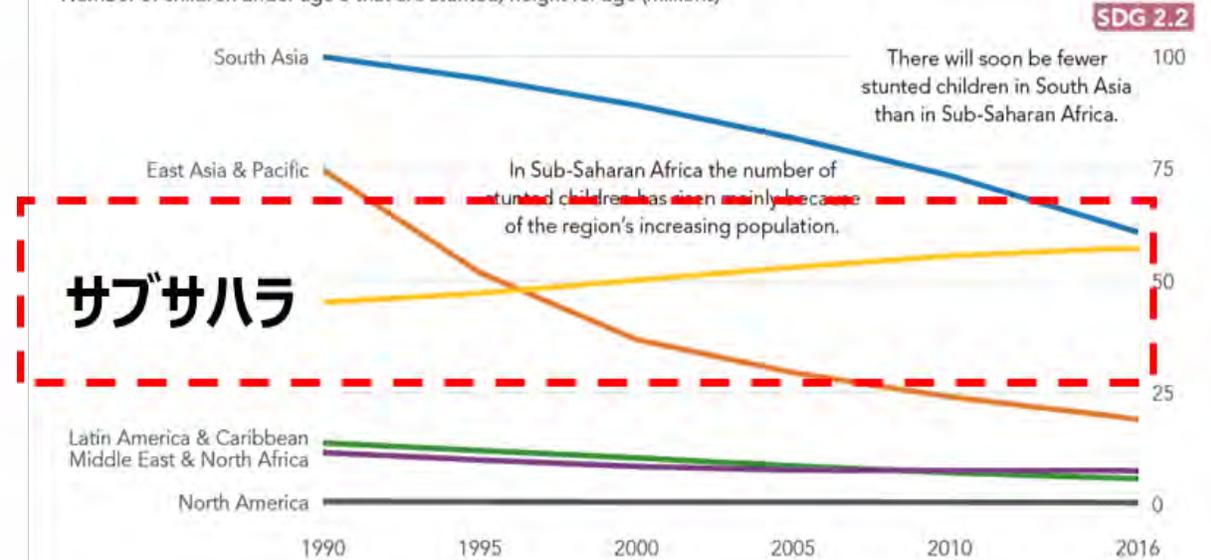
Malnourished

2020/1/21

5歳以下の栄養失調率

Young children and infants are most vulnerable to the effects of malnutrition. Globally, over 95 million fewer children were stunted in 2016 than in 1990.

Number of children under age 5 that are stunted, height for age (millions)

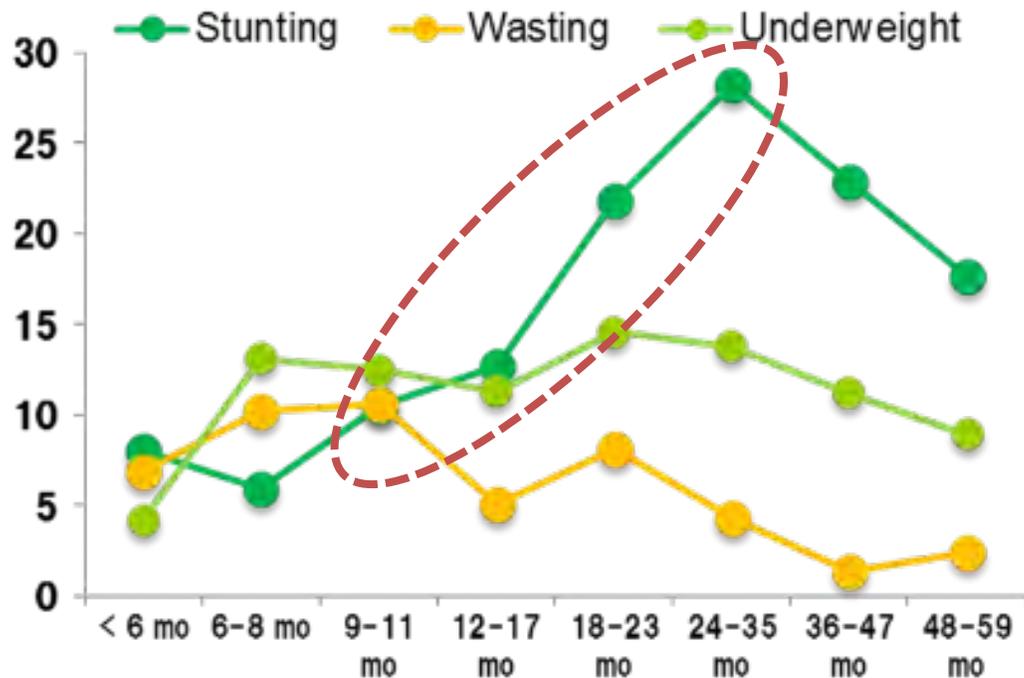


Notes: Estimates not available for Europe & Central Asia due to poor data coverage.

Source: UNICEF, WHO and World Bank, WDI (HS.STA.STN.TZ.SRVS.Health.Nutrition.and.Population.Statistics.SP.POP.OO4.FF.SP.POP.OO4.MV)

(2) ガーナにおける栄養課題確認と研究・事業の開始

2才の子どもの約3割が低身長
離乳期に大幅に増加



Reference: Ghana_Ddemographic and Health Survey 2014

仮説：伝統的な離乳食KOKO(お粥)に
理由があるのではないかと



“KOKO”

(一般的な発酵したコーンの粉と砂糖で作られたおかゆ)

タンパク質(アミノ酸)、微量栄養素が不足

しかし、地元で入手できる食材だけでは微量栄養成分(鉄・亜鉛など)は充足できない。

(Ref: Fill the Nutrient Gap Ghana / WFP) <https://www.wfp.org/content/2017-fill-nutrient-gap-ghana>

たんぱく質・微量栄養成分を補助・強化した食品での解決が必要

味の素社&ガーナ大学の協働プロジェクトがスタート

(2) ガーナにおける栄養課題確認と研究・事業の開始

< 製品開発 >

1. 製品コンセプト

- (1) 現地の伝統的な離乳食の栄養バランスを整える栄養補助パウダー
- (2) 子どもがおいしく食べてくれる & 栄養改善 & Stuntingが予防できる。

2. 主原料: 大豆、リジン(アミノ酸), ビタミン & ミネラル等

3. 特長

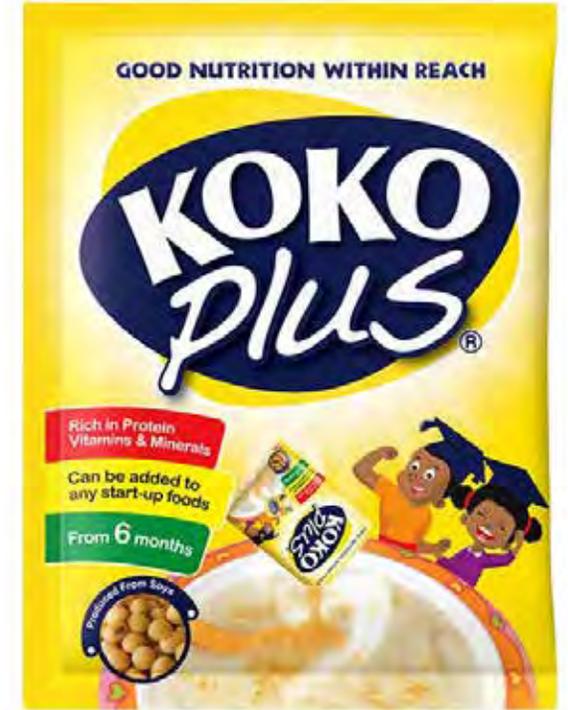
3A

- (1) Acceptable: 現地の食文化を尊重 (離乳食おかゆ向けのふりかけ)
- (2) Affordable: 0.1\$/袋/日 収入2\$/日の家庭でも購入できる
- (3) Accessible: 賞味期間1年 いつでも(乾季でも)/どこでも(遠い田舎でも)入手可能

3L : Local Food Value Chain

- (1) Local 原料 (大豆)
- (2) Local 生産
- (3) Local 販売会社

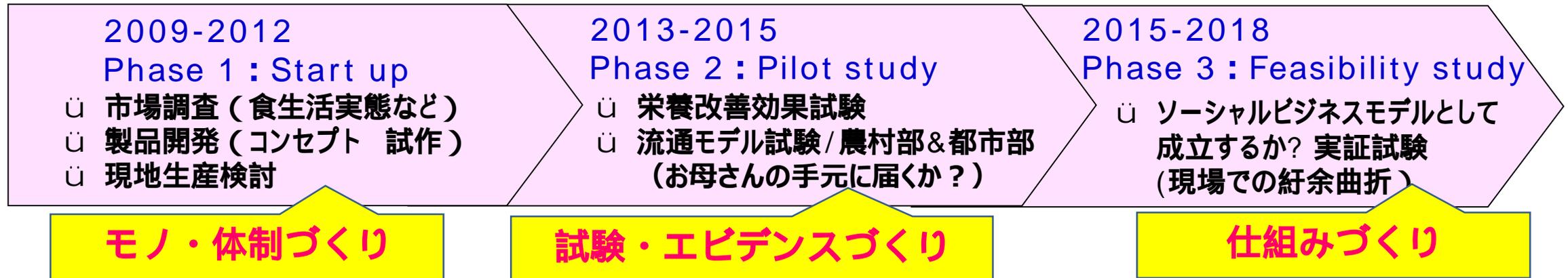
2020/1/20



(3) ヒストリー (10年間の研究ステージ：コンセプト 実証)

栄養改善という社会課題解決のためには、
現地のプレイヤーがビジネスベースで継続できるモデルを確立する必要がある。

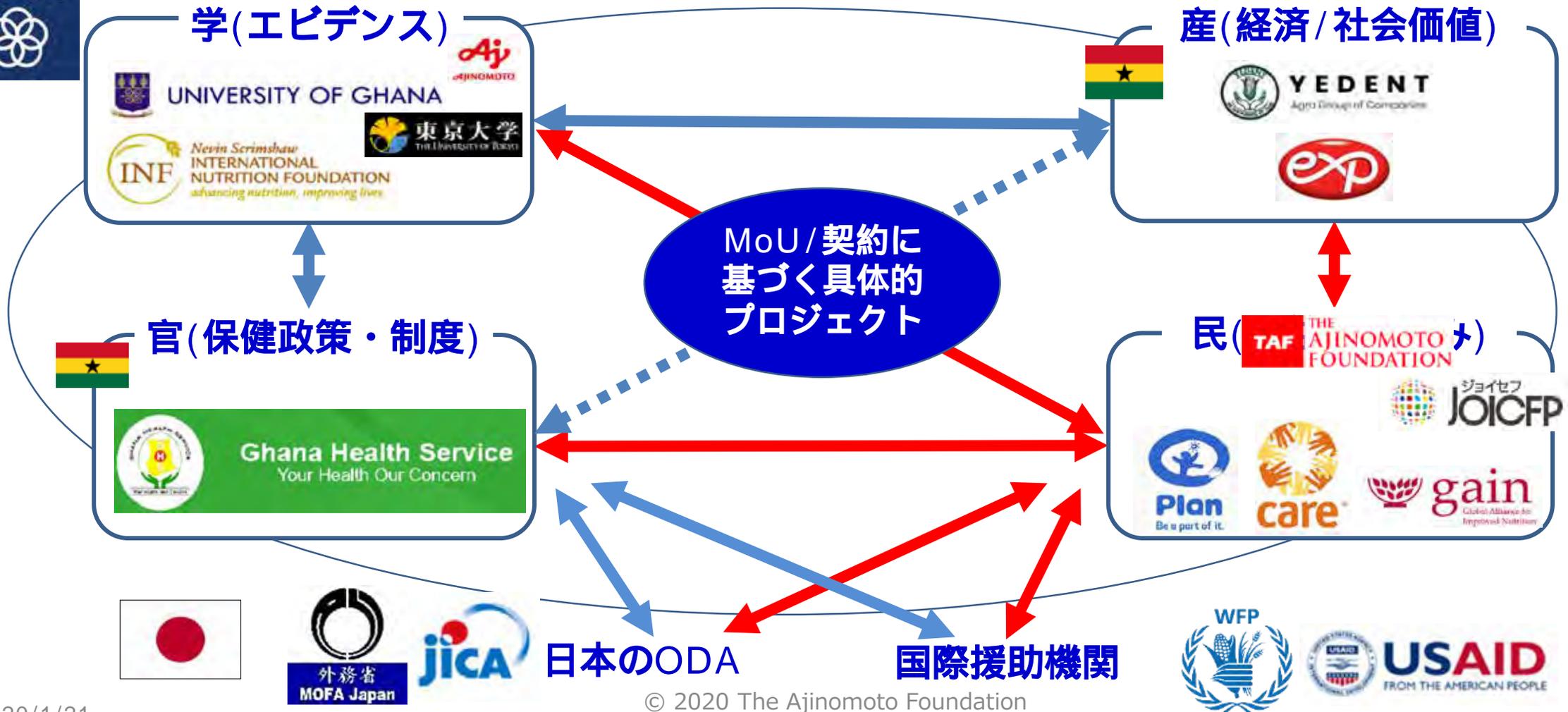
* これまでの様な時限的な栄養食品の無償提供などの支援スタイルでは、持続性が保てない。



(4) 今後の課題

課題はまさにパートナーシップ強化によるスピードアップ

17 パートナーシップで
目標を達成しよう





ご清聴ありがとうございました。

